

2021年1月17日(日)

主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催：青少年児童療育支援協会

～誰も教えてくれない～

特別支援が必用な子の進路の話

- 通常級と支援級、支援学校で何が違うのか？
- 支援学級から進学ができる高等学校の話
- 就職するためにはどんな力が必用なのか？

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

恐るべし！教育予算(岐阜県の場合)

まずは、すべての県の予算の中で、一番多いのが「教育費」なんです。

- 教育費 22.5%
- 民生費 12.8%
- 公債費 11.8%
- 土木費 10.8%
- 総務費 6.7%

【そして教育費の□□.□%が . . . 】
人件費なのです。

恐るべし！教育予算(岐阜県の場合)

まずは、すべての県の予算の中で、一番多いのが「教育費」なんです。

■教育費	22.5%	■民生費	12.8%
■公債費	11.8%	■土木費	10.8%
■総務費	6.7%

【そして教育費の89.1%が.....】
人件費なのです。

人を増やせば、教育の質が上がると
考えていては、民間施設であれば潰れます。

恐るべし！特別支援教育の教育予算

児童・生徒一人当たりの教育費はいくら？

※一年間で必要なお金は

- 幼稚園 . . . 約 93 万円
- 小学校 . . . 約 90 万円
- 中学校 . . . 約 100 万円
- 高等学校 . . . 約 107 万円 (全日制)
- 高等学校 . . . 約 140 万円 (定時制)

そして■特別支援学校 . . . 約□□□万円

恐るべし！特別支援教育の教育予算

児童・生徒一人当たりの教育費はいくら？

※一年間で必要なお金は

- 幼稚園 . . . 約 93万円
- 小学校 . . . 約 90万円
- 中学校 . . . 約100万円
- 高等学校 . . . 約107万円 (全日制)
- 高等学校 . . . 約140万円 (定時制)

そして ■特別支援学校 . . . 約618万円

恐るべし！特別支援教育の就職率

■特別支援学校中学部の進学率は、 . . .
岐阜県 98.4% (全国 98.3%)

■特別支援学校高等部卒業者の就職率は . . .
岐阜県 〇〇.〇% (全国 〇〇.〇%)

恐るべし！特別支援教育の就職率

■特別支援学校中学部の進学率は、
岐阜県 98.4% (全国 98.3%)

■特別支援学校高等部卒業者の就職率は
岐阜県 38.0% (全国 32.3%)

なんと3人に一人しか就職できていない！

これが現実！「保護者として」「学校として」
「行政として」「放デイ」として、今何ができる
のか？を早期から考えていく必要がある。

障害の種別は？ 岐阜県 支援級

■特別支援学級 4 2 4 8 人

- ・ 知的障害 2 4 2 3 人
- ・ 自閉・情緒障害 1 7 3 8 人
- ・ 肢体不自由 5 0 人
- ・ 病弱 1 4 人
- ・ 難聴 2 3 人
- ・ 弱視 0 人

※ほとんどが「知的障害」と「自閉・情緒障害」

障害の種別は？ 岐阜県 支援学校

■特別支援学校 2610人

・ 知的障害	1931人
・ 自閉・情緒障害	0人
・ 肢体不自由	386人
・ 病弱	174人
・ 聴覚障害	89人
・ 視覚障害	40人

※「自閉・情緒」がない？

特別支援学校は、精神手帳では入学不可？

『天を望みて、地を歩む』

→18歳の出口を考えて今の療育を行う

なぜ、「今が大切」と今ばかり見るのか？

→毎年変わる担任、責任がもてない？

《まず18歳以降の三つの生き方を考える》

1 手帳を使って「障害者」として生きていく

2 手帳をもたずに「健常者」として生きていく

3 1と2の合わせ技、手帳と学歴をもつ生き方

それでは、中三以降どのような道に進むか

「特別支援学校高等部」進学か？

それとも「高等学校進学」か？

現在中三卒業後社会に出る子は1000人に一人？

1 特別支援学校高等部進学の場合

- 通常の支援学校高等部に進学
- 高等特別支援学校高等部進学

2 高等学校進学の場合

- 通常の公立・私立の高等学校
- 特別な高等学校（支援学級から進学可能）
（例）通信制サポート高校や専修学校

障害者として生きるならば……

1 特別支援学校高等部進学の場合

○通常の支援学校高等部に進学

- ・形としての入試はあるが、事実上合格！

○高等特別支援学校高等部進学

→卒業後多くの子が、よい条件で就労できる

☆《入学試験がある》

「学力」「作業のテスト」「面接」

・当初は小3程度→今は小5程度必用

☆ほとんどの学校が自力通学が条件！

健常者として生きるならば……

2 高等学校進学の場合

○通常の公立・私立の高等学校

原則5教科500点のテスト＋内申書

☆私立の学校もある（例）星槎中・高校

○特別な高等学校（支援学級から進学可能）

（例）通信制サポート高校

KTCおおぞら高等学院

明蓬館SNEC高等学校（面接のみ）

（例）専修学校・・・専門学校＋通信高校

障害者でありかつ学歴をとるならば……

1 支援学校高等部から大学進学の場合

☆乙武さんもこの方法で大学進学

支援学校にも“普通クラスがある？”

作業訓練しない

・英語や数学など高校と同じ学習をする

◎しかし、入試がある。学力が必用

2 手帳はあるが高等学校へ進学する

☆特別支援を必用とする子を受け入れる高校

「入学できるか」ではなく、「卒業できるか」
で選ぶことが重要

知ってほしい二つの事業

1 就労移行支援事業

支援学校高等部からも行けるが「高卒資格」がないことは覚悟して下さい。

☆卒業後、2年間の就労訓練をしてくれる
その子に合った就労訓練と就労の紹介

しかし、すぐに辞めてしまうという問題、そこで

2 就労定着支援事業

☆ジョブコーチが職場についてくる。
仕事而定着するまでしっかり支援してくれる。

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路
- 4 身につけなくてはいけない力

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学校は、生活単元中心
学習よりも、「自立して生きていく力」を身につけていくことが最優先！！

☆小1では、ほとんど学習を行わず身辺自立最優先！！

☆小3から「ひらがな練習」ということもある。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（知的学級）は、
生活単元＋教科の授業

基本的に支援学校と同じ！

しかし、その子に合った学習も
進めていく。

通常級の交流もその子に合わせて
である。

☆「ひらがな」は小1から指導する。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（情緒学級）は、教科の授業＋自立活動（生単無し）基本的に学年の教科学習を行い、SSTなどの自立活動を行う。→その子によるが、**通常との交流も多く、通常学級に戻るケースも多い。**

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通級指導教室は、

「ことば」と「情緒」の2種類
が多い

通常級に籍を置き、週に1～
数時間抜き出しで個別の指導
を受ける。

自校の場合と他校の場合がある

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通常学級は、教科の授業中心

原則、担任一人で、30人の子どもたちを担任。

合理的配慮を行わなくてはならないが、現実には難しい。

※通常級に6.5%の発達障がいの子ども

どのような基準で分けるのか？

判定は、市町村教育委員会

就学指導委員会・教育支援委員会等の名前

(教育委員会担当職員＋校長会代表＋専門医＋支援学校教員＋発達支援センター＋教育長等)＋保護者の願い等書かれた書類

○知的な遅れがあるか。

○身辺自立ができているか。

○情緒面の問題がないか。

※原則定例・・・臨時も有

変更する場合は、

まず、校内の支援委員会で決定

(校長＋教頭＋主幹教諭＋教務＋学年主任＋コーディネーター
＋養護教諭＋支援学級担任＋通級の先生)

校内委員会で変更の必要があるとされると

まず、保護者に連絡

保護者の理解が得られると
教育委員会に書類が行く。

→校内委員会の通り進む

保護者の思いで決まる？

あくまで、教育委員会で決定

しかし、今は親の願いを重視！
ところが・・・

支援学校判定→支援級へ O K

支援級判定→支援学校へ N G

なぜか？

予算が関係している

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 **何が違うのか (2) 支援体制**
- 3 何が違うのか (3) 進路
- 4 身につけなくてはいけない力

支援学校→担任が2人

支援学級→担任が1人
+ 支援員（県・市町村）

通常学級→担任が1人
+ 支援員（県・市町村）

☆小3からは基本担任1人

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路
- 4 身につけなくてはいけない力

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学校は、高等部まで支援学校

通常の学校（支援学級）への変更は、事例としてほとんど無い。

→よほどのことがないかぎり通常の学校が受け入れない。

→手帳を使って、障がい者枠でよりよい就職先をめざす。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（知的）は、最終的に支援学校高等部→就職が多い

《理由》

知的な遅れがあるため、高等学校の学習についていけず、卒業することができないと判断される。高等学校は、留年がある。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（情緒）は、手帳がないと高等学校進学をめざさなくてはならない。（支援学校定員一杯）

《理由》

平成10年から支援学校在籍者は2倍に増え、日本全国で2300以上の支援学校クラスが不足状態

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通常学級や通級は、原則高等学校進学をめざさなくてはならない。

（通級は通常級にもどす努力）

《理由》

現在は、単位制や通信制など様々な高等学校ができています。

→将来をみすえた支援が必要！！

高等学校入学や 社会で生きていくために必要な力とは？

○まずは、「社会性」

○次に学力 《合否のカギは》

5教科の点数と内申書、出席

しかし、通信制高校サポート校は大丈夫！

平均1日3時間の学習内容！少ない！

(例) 明蓬館SNEC高等学校・草津

(例) KTCおおぞら高等学院

(例) 第一高等学院・・・まだまだあります

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路
- 4 身につけなくてはいけない力

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制

就職するために必要なことは……

大山会長（日本理化学工業）
の採用条件



- ・ 身辺自立
- ・ 自分で会社に通う
- ・ 「やろう」と言われたら
すすんでやる
- ・ 仲間にいじわるをしない
- ・ 気持ちのよいあいさつ

就労の違い(山内の指導経験から)

- 養護施設とは、 . . .
 - 作業所、とは、 (7歳の壁)
 - B型事業所とは、 (9歳の壁)
 - A型事業所とは、 (12歳の壁)
 - 一般就労とは、 (15歳の壁)
- 法律も変更 . . . 障害者枠は、精神手帳も可。しかし、現実には . . .
- ☆短大・大卒が条件になる場合も

児童発達支援と放課後等デイサービス

学童保育や通常の園では

※たくさんの子どもに対して指導員の数が少ない

- ・ 学習の見届けも、活動の見届けも甘い。
- ・ 子どもが多いので、指導員が個に対応できない。

○健常の子は、自らの力で社会性を身につけていく。

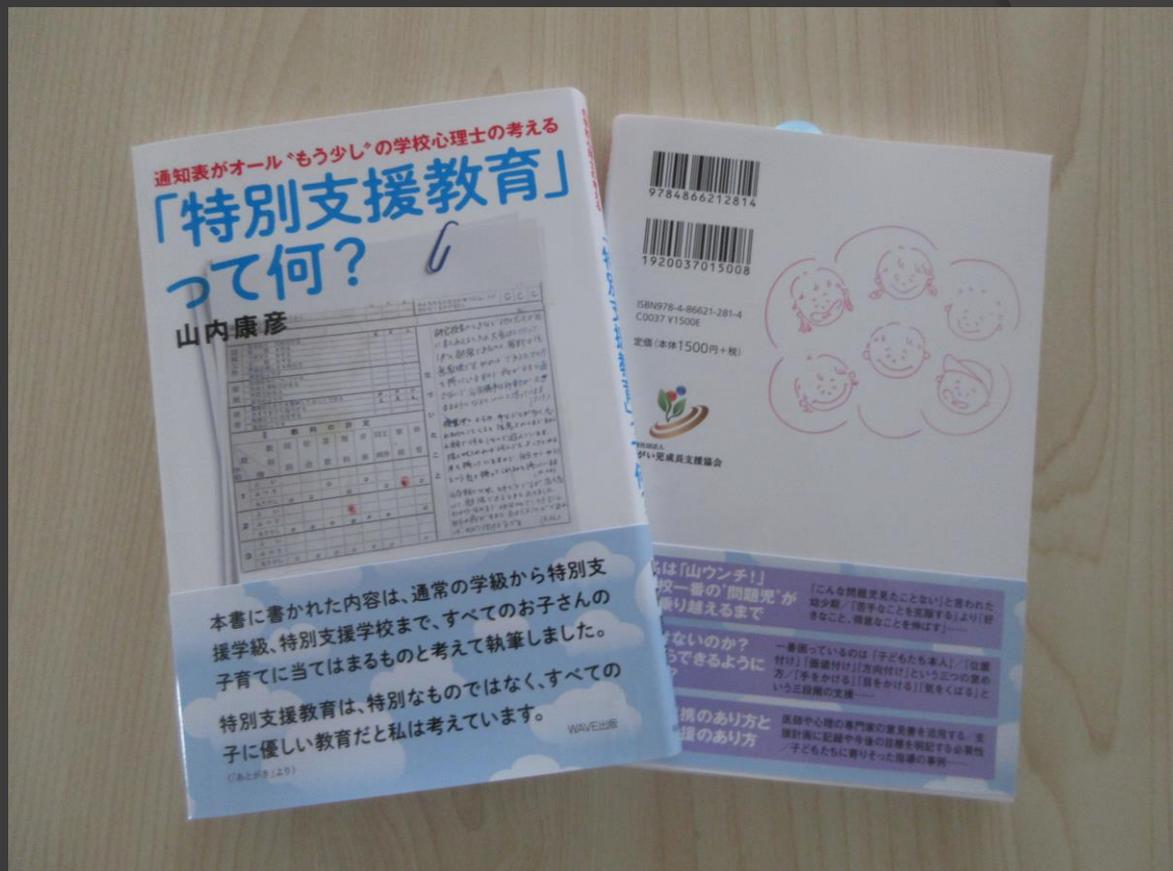
児童発達支援・放課後等デイサービスは . . .

※定員10人に対して 指導員が4～5人

- ・ 学習の見届けも、活動の見届けが充実。
- ・ 職員が多いので、個の対応も可能!!

○特別支援が必要な子は、肯定的に認めてくれる大人のもとで社会性を身につけていく。

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。